

学力調査等の状況

・今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果より
 国語・・・全国平均より正答率が5%、東京都平均より2%高い
 数学・・・全国平均より正解率が9%、東京都平均より6%高い
 英語・・・全国平均より正解率が7%高く、東京都平均とは同数
 以上の結果から、全体として学力の定着が見られた。特に、数学の学力は高い状況にあることがわかった

見えてきた課題

・国語:全体として概ね理解がなされている結果が見てとれる。「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」の問題や「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」問題に対しては課題はあるものの、一定の力がついている。「書いた文章を読み返し、段落相互の関係に注意して書く」はさらに理解を深めていくことが課題であることが明らかとなった。
 ・数学:全体として理解度の高さが結果から見てとれる。学習内容を理解し応用できるところに到達していると思われる。全体としては理解が進んでいる状況ではあるが、基礎基本の定着をさらに進め、無解答率を下げることで、「数学的に説明・表現する」ことが課題である。
 ・英語:概ね理解が進んでいる状況である。基礎基本の定着をさらに進め、無回答率を下げることで、理解できたことを活用していくことが課題である。

授業をデザインする8つの取組について

認め合う・学び合う集団の形成	○2学期に研究授業や校内研修を設定し、教員の資質を高める。○小中のつながりを意識した授業プランについて理解を深める。○主体的に学習に取り組む機会を盛り込んだ授業改善を図る。
ICT機器の活用	○クロムブックなどのICT機器を活用した授業に積極的に取り組み、次世代の社会に対応できる力を養う。○ICTやデジタル教科書を積極的に活用し、外国語教育の充実を目指す。
振り返りの設定	○放課後の自習教室(サウスウインド)を開設し、生徒たちが学習できる環境を整える。○家庭学習ノート(1Pノート)を学年で工夫をして取り寄せ家庭学習の機会を増やす。

各教科における課題を改善するための指導の重点

	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
国語科	○文章読解力の土台となる言語・語彙等の習得指導に力を入れ、読解力の向上につなげる。 ○説明を聞きメモを取らせることで、聞きとる力、聞いて内容を理解する力を高める。 ○単元や授業の学習目標や学習内容を明確に提示し、生徒の学習に対する関心、意欲の向上につなげる。 ○語彙力、読解力、論理的思考力、文章表現力が身につく高まる学習教材や発問、授業の展開の仕方、副教材の利用の仕方を常に模索、工夫していく。	○語句の意味の確認や慣用句を定期的に学習し、定着を図っている。 ○説明に加えて、聞き取りテストを定期試験後に毎回行い、理解力の向上につなげている。 ○次回、何について、また何を目標として学習するのかを、前時の終わりに予告し、意識を高めている。	○語句の意味や漢字の小テスト等を繰り返し行うことで、基礎学力の定着を図っている。 ○単元にあわせたワークシートや、単元終了時にもワークシート等で学習内容の確認を行うことで、理解を深めさせる。 ○文章の展開に注目させ、つながりのある文の理解を深めさせる。	○漢字の小テスト等を繰り返し行うことで、基礎学力の定着を図っている。 ○定期的にスピーチや話し合い活動を行い、表現する力を育てている。 ○課題作文によって、その課題に即した自分の考えや意見を的確に表現できるように取り組ませている。 ○単元ごとにワークシート等を活用し、学習内容の確認を行い、理解を深めさせる。
社会科	○写真資料、データなどを活用し、考察し、また、自分の言葉で表現する場を設け、力を身につけていく。 ○ワークシートを活用し、知識の整理・定着を図る。 ○アクティブラーニングを実施し、基礎的・基本的な知識を深め、一人一人の考えを表現する機会を設けていく。	○写真資料や作図を活用し、考察・読み取る力や自分の言葉で表現する力をさらに向上していくために、今後は資料を読み取りをするワークシートやディスカッションの場を増やし、思考力や表現力を深めていきたい。	○全体的として基本的な知識の定着が進んでいる。一方で、知識の習得は個人差が大きいので、振り返りシートを活用し自ら苦手な部分を理解し振り返り学習を行うなど、定期考査以外で意欲的に学習に取り組むきっかけを継続的につついていく。 ○習得した知識を活用する力に課題がある。授業の改善に加え、単元のまとめづくりなどの課題を通じて「資料を読み取り、まとめ、表現する力」を育成していく。	○写真資料やデータを活用し、考察し検証する力や自分の言葉で表現する力は身につけている。今後はプレゼンテーションやディスカッションの場を増やし、思考力や表現力を深めていきたい。 ○小テストの実施を積み重ね、おおむね知識の整理、定着ができていく。今後は知識の活用を増やしたい。また、知識の定着が難しい生徒については、個別に対応していく。
数学科	○毎時間ごとの宿題を含む家庭学習の定着の推進、間違い直しノートの提出を促すことによる復習の徹底、まとめプリントの活用等を利用して、基礎・基本を徹底する。 ○単元ごとの確認テストの実施による習熟状況の把握を行う。 ○少人数授業にITを配置し、より細かな指導を行う。 ○協同的探究学習を取り入れることにより、「わかる授業」を確立する。	○計算の基礎を徹底するために、問題演習プリントを多く授業に取り入れ、問題数を多くこなしている。 ○テスト後、間違えなおしに取り組みませ、次回への反省をさせている。 ○少人数教室をTTIにすることにより、より細かい指導を行っている。	○生徒が主体的自主的に学べるよう、教え込むのではなく発言を引き出すような声かけを行っている。 ○小テストを行うことで、学習の取り組み方について反省をさせている。	○定期的に問題集や宿題を課すことで、基礎基本を徹底している。 ○テスト後に復習プリントを活用することにより自分の弱点を確認している。
理科	○発問を工夫したグループワークの展開を考える。 ○実験は少人数で行い、グループ全員で実験に関わる事を基本とした。 ○各単元ごとに復習テスト、演習問題等などの振り返りを行い、基礎力の定着を目指す ○体験活動を通して、興味関心を広げる。	○発問を工夫し、何のために実験を行うのか理解させようとして実験に取り組ませたい。 ○その授業のテーマについて、実験の結果を用いて、自分で考える力をつけさせたい。 ○自作したプリントやワークを用いて演習問題に取り組ませ、基礎の定着をはかりたい。 ○単元に興味を持たせる工夫として、生徒実験の他に、演示実験も積極的に取り入れたい。	○実験レポートでの考察を重視し、探求する力をつけたい。 ○実験の結果などを、自分の言葉で説明できる力をつけたい。 ○実験や観察を多く取り入れたり映像等による疑似体験により、興味関心を多く引き出したい。 ○基礎的な力を身に付けるため、繰り返し学習を重視し、ワーク等による復習を随時行う。	○実験の結果から考察する力をつけていきたい。 ○基礎的な力を身に付けるため、3年の授業内容に絡めて1・2年の授業の内容の復習を取り入れている。 ○基礎の徹底をはかするために演習問題を用いて個別指導を行っている。 ○実験が行えない部分についても映像等による疑似体験を行っている。
外国語科	○英語の基礎基本である語い力をつけさせる。新出単語の導入時から受容語と発表語の区別を意識して指導にあたりるとともに単語テストを定期的に行う。 ○これからの英語力としての発信力を身につけさせる。発表語を意識したペアワークやグループワークを毎時間行う。その活動をスピーチなどの活動につなげていく。	○英語の基本的文法や語彙を身につけさせるために、日頃から英作文や対話を多く取り入れている。 ○発信力を高めるために、英語の活動時には基本英語の授業を行うことで生徒の英語受容の機会を増やす。 ○単元のゴールとして、パフォーマンステストを実施している。	○語彙力に関しては適宜テストを行うとともに、リテリングなどを通して、スピーキング活動の中で単語も覚えていく姿勢を持たせる。 ○これまでは、スピーキングテスト、もしくは、プレゼンテーションの発表を学期に1回を標準としていたが、学期中に2回実施を目標とする。	○普段の授業から英会話の知識を増やすとともに、練習プリントを活用して文法定着の力を付ける。 ○言語活動に重きを置いて、学習した文法事項を使って表現する機会をゲーム形式で多く設ける。また、定期的にスピーチテストを行うことで表現力を高める。

①-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
音楽科	<p>○歌唱の授業では発声チェックを行い、自分自身の発声に対して向き合える時間を作る。</p> <p>○合唱では、パートリーダーや指揮者の育成に力を入れ、どのように練習すれば効率よく上達するのか、どのように音楽を表現するかなどを、話し合い活動を軸に考えさせる。</p> <p>○器楽の授業ではペア学習を行い、お互いに指摘しあえる環境を作る。</p>	<p>電子キーボードで同じ音を持続して鳴らし、その音に正しい音程でよい発声や姿勢で合わせられるか、全員チェックする。待ち時間は、息、喉、口の開き方などを自分自身で試す時間とし、自分自身の声に向き合う。</p> <p>○合唱祭期間には、パートリーダー会、指揮者会などを行い、情報交換やそれに対する教師からのアドバイスなどを行う。</p> <p>○ギターと箏の授業では、2人で1台を使用し、お互いにアドバイスを言い合ったり、クロムブックで録画をして自分自身の演奏を見直せる環境を作る。</p>	<p>電子キーボードで同じ音を持続して鳴らし、その音に正しい音程でよい発声や姿勢で合わせられるか、全員チェックする。待ち時間は、息、喉、口の開き方などを自分自身で試す時間とし、自分自身の声に向き合う。</p> <p>○合唱祭期間には、パートリーダー会、指揮者会などを行い、情報交換やそれに対する教師からのアドバイスなどを行う。</p> <p>○ギターと箏の授業では、2人で1台を使用し、お互いにアドバイスを言い合ったり、クロムブックで録画をして自分自身の演奏を見直せる環境を作る。</p>	<p>電子キーボードで同じ音を持続して鳴らし、その音に正しい音程でよい発声や姿勢で合わせられるか、全員チェックする。待ち時間は、息、喉、口の開き方などを自分自身で試す時間とし、自分自身の声に向き合う。</p> <p>○合唱祭期間には、パートリーダー会、指揮者会などを行い、情報交換やそれに対する教師からのアドバイスなどを行う。</p> <p>○ギターと箏の授業では、2人で1台を使用し、お互いにアドバイスを言い合ったり、クロムブックで録画をして自分自身の演奏を見直せる環境を作る。</p>
美術科	<p>○対象物をしっかりと観て実感を持った線や色に表現する。</p> <p>○木や石や土などの自然物の持つよさ、美しさを感じて制作をする。</p> <p>○西洋・日本、時代による美術作品の違いに触れ味わう</p> <p>○クロムブックを活用した調べ学習を行う。</p>	<p>○道具の使い方や対象物の見方の基礎を身につける。</p> <p>○クッキーなどの制作に慣れる。</p> <p>○調べ学習についての壁新聞制作により、自ら学び、まとめる力をつける。</p> <p>○陶芸を通して用の美に気づく。</p>	<p>○動物の点描画では、動物の動きをダイナミックに描き、オイルパステルを使い、点描法の良さを活かし、明るい作品を仕上げるようにする。</p> <p>○彫刻では握った手をよく観察し、荒彫り、中彫り、仕上げと丸彫りの良さをあじわいながら制作していく。</p> <p>○工芸では彫刻刀を上手に使い伝統的な飾り彫りを覚えていく。</p> <p>○観賞では西洋美術史の流れや変化を意識して進めていく。</p>	<p>○木彫文箱のレリーフでは、飾り彫りの技術を活かし、美しく力強いデザインを考え、粘り強く制作をする。</p> <p>○自画像の鉛筆デッサンでは自分を見つめ、写実的に描き、陰影をつけていく中で、抽象的な存在感まで表現していく。</p> <p>○観賞では日本美術史の流れや変化を意識して進め、その良さに気づくように進めていく。</p>
保健体育科	<p>○社会生活に必要な生きる力や授業で培った力を実践できる力を身につける。</p> <p>○作業を自ら考え工夫する力を育てる。生徒がコミュニケーションをとりながら自他共に伸びる授業展開を行っていく。</p> <p>○基礎的・基本的な知識と技能を意味づけながら身につける。</p> <p>○実習では、事前準備や計画をすることで、先を見越す力を身に付ける。</p>	<p>○グループ活動を通して、コミュニケーション能力を育むことができるよう、声掛けや活動内容の工夫を行い、改善していく。</p> <p>○さらに教え合い活動が活発になるように学年に応じて授業を改善し、得意不得意関係なく、全員が基本的な技能を身につけられるように促す。</p>	<p>○グループ活動を通して、コミュニケーション能力を育むことができるよう、声掛けや活動内容の工夫を行い、改善していく。</p> <p>○さらに教え合い活動が活発になるように学年に応じて授業を改善し、得意不得意関係なく、全員が基本的な技能を身につけられるように促す。</p>	<p>○グループ活動を通して、コミュニケーション能力を育むことができるよう、声掛けや活動内容の工夫を行い、改善していく。</p> <p>○さらに教え合い活動が活発になるように学年に応じて授業を改善し、得意不得意関係なく、全員が基本的な技能を身につけられるように促す。</p>
技術・家庭科	<p>技○社会に出て、生きる力や培ったものを実践できる力を身につける。</p> <p>○作業を自ら考え工夫する力を育てる。生徒がコミュニケーションをとりながら自他共に伸びる授業展開をおこなっていく。</p> <p>家 ○基礎的・基本的な知識と技能を意味づけながら身につける。</p> <p>○実習では、事前準備や計画をすることで、先を見越す力を身に付ける。</p>	<p>技○導入・設計を重視し、思考する時間を設定している。</p> <p>○道具の使い方を通じて、他とのコミュニケーションにより作業を展開している。</p> <p>家○グループワーク、発表の場を設け、思考する時間を設定している。</p> <p>○授業前の目標の設定、授業最後の振り返りを徹底している。</p>	<p>技○導入・設計を重視し、思考する時間を設定している。</p> <p>○道具の使い方を通じて、他とのコミュニケーションにより作業を展開している。</p> <p>家○グループワーク、発表の場を設け、思考する時間を設定している。</p>	<p>技○導入・設計を重視し、思考する時間を設定している。</p> <p>○道具の使い方を通じて、他とのコミュニケーションにより作業を展開している。</p> <p>○高みを目指してこだわりを持ち、思考・技能を発揮させ、作品作りを取り組んだ。</p> <p>家○グループワーク、発表の場を設け、思考する時間を設定している。</p> <p>○授業前の目標の設定、授業最後の振り返りを徹底している。</p>
総合的な学習の時間	<p>○総合的な学習の時間のねらいに基づく指導内容の工夫・改善</p> <p>○職場体験の実施</p> <p>○MESEの実施</p>	<p>○レディネステストや身の回りの職業について考える時間を設けてから、職業調べを行った。自分の将来や職業について考え始める機会とした。</p> <p>○セーフティー教室で、身近な存在であるインターネットの怖さについて知る機会とした。</p>	<p>○職場体験事業を行い、様々な事業所で。実際に働くという経験を通して、「働くこと」の意義や大変さを知り、周囲への感謝を深め、自自身の将来について考える機会とした。</p>	<p>○修学旅行事後学習の壁新聞作成では各職員でコミュニケーションを大切にし、工夫をしながら制作をし、京都奈良に対しての学びを深めていった。</p> <p>○進路学習において、面接の受け方や、ロールプレイングを行い、自分の進路に対する考えを深めている。</p> <p>○キャリア教育の一環としてMESE実施予定。</p>
特別の教科 道徳	<p>○「特別の教科 道徳」の授業時間の適正な確保と内容の工夫</p> <p>○道徳授業地区公開講座の充実</p>	<p>○内容項目のバランスがよくなるように通常授業を実施している。</p> <p>○学年が直面している課題に関する授業を行うなどして、より効果的な授業になるように配慮している。</p> <p>○道徳授業地区公開講座では講師を招き、「共生社会(介助犬)」をテーマに講演会を開催した。</p>	<p>○内容項目を考えながら、担任だけでなく、学年教員で道徳授業を担当し実施している。</p> <p>○学年行事や学年の様子を鑑みながら、内容を検討している。</p> <p>○道徳授業地区公開講座では、講師を招き「共生社会(介助犬)」をテーマに講演会を開催した。</p>	<p>○内容項目を考えながら、学年全体で道徳授業を担当し、実施している。</p> <p>○学年行事や学年の様子を鑑みながら内容を検討している。</p> <p>○道徳授業地区公開講座では講師を招き、「共生社会(介助犬)」をテーマに講演会を開催した。</p>

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
特別活動	<p>○自治的な取り組みを通じた生徒会活動の充実</p> <p>○学校図書館活動の充実</p> <p>○個性を伸ばし心身を鍛える部活動の充実</p>	<p>○授業規律をつくるため学級委員が声かけを行っている。</p> <p>○読書の呼びかけや本の紹介を委員会でやっている。</p>	<p>○それぞれの委員会が主体的になってより良い学校づくりを目指して活動している。</p> <p>○どの部活においても生徒たちは熱心に取り組んでいる。</p>	<p>○各委員会が主体的になって、学校全体を引っ張っていくと活動している。</p> <p>○読書の呼びかけや本の紹介を委員会でやっている。</p> <p>○どの部活動においても熱心に活動していた。</p>